

AIC グラーロス広島レディース U15

2022 年度より [AIC シーガル広島レディース](#)からチーム変更し、[AIC グラーロス広島レディース](#)と改名

「クラブ基本理念」

<Be a good loser>

常にどんな敗北の時もグッドルーザーであれ。もちろんバッドウィナーは最悪で関わるすべての良質を滅ぼします。敗けを潔く認め、敗けから学ぶ。敗けても何度でも立ち上がるのできる「挫折回復力」をもち努力し続ける喜びを知ること。勝利から学ぶべき、さしたるものはほばない。良き敗者は「立ち上がって」勝者となる。厳しさを己のこととして受け止め、日々学び続けること。

「サッカー環境」

練習は人工芝グラウンドで実施。土のピッチと違いこけても痛くありません。

夜は LED 照明完備。チーム練習後に自主練習の時間も設けています。

クラブ専用部屋やシャワールーム完備。

中学生年代でも技術レベルの高い選手や希望者は AICJ 高等学校女子サッカー部と合同で練習ができます。飛び級制度を採用しています。(要相談)

このような充実した環境の中で、選手育成に励みます。

「育成方針」

AIC グラーロス広島レディースでは、サッカーの本質を徹底するため基本技術の「質」の追求を徹します。サッカーの試合では、パス&コントロールのプレー割合が 80%を占めます。動きながらボールを止める・蹴るができればボールを運ぶ(ドリブル) こともできません。サッカーで重要な技術はボールを止める・蹴る・運ぶ(あらゆるドリブル) です。

また、ドリブル技術やプレー感覚・プレーのイメージネーションも小学生年代～中学生年代で徹底的に行うことが重要です。AIC 独自のドリブル練習や脳や身体全体を刺激し運動神経を発達させるトレーニングも行います。

試合では、全力で勝つことを要求しますが、勝つためだけに練習を行うものではありません。

高校生年代以上で花開く選手であれをモットーに育成を行います。

年代や技術レベルを考慮して年間のカリキュラムの中で、サッカーの本質を磨き上げ、ボール意のままに扱えるように「個」のレベルアップを中心に練習を行います。

また、集団スポーツの中で重要なポイントになるのがメンタル(精神面)のコントロールです。ミスをおそれずチャレンジする環境を提供し、ミスをしてもし周りの気がせせず鼓舞をする仲間づくりがレベルアップするために重要です。

広島県から愛され日本代表をする選手の育成。サッカーを通して大和撫子(やまとなでしこ)らしく社会で活躍する人間形成を徹底的に行っていきます。

「試合戦績」

全日本 U15 女子サッカー選手権大会 4年連続全国大会出場 (2018・2019・2020・2021)

全日本 U15 女子フットサル選手権大会 4年連続全国大会出場 (2018・2019・2020・2021)

全国3位3回・準優勝1回

「AIC 女子サッカーグループの実績」

AICJ 高等学校女子サッカー部

2019 年度から本格的に始動して 4 年連続で選手権大会に出場中！

2022 年度は中国地域代表としてインターハイ全国大会に出場し、優勝チームに惜しくも敗戦しましたが、ベスト8となりました。

また、AIC グラーロス広島レディース同様にフットサルも強化をし、AICJ 中心の広島県女子フットサル選抜では昨年度全国優勝、今年は全国準優勝となりました。

2021 年度までしこリーグ1部入団1名・広島大学2名・順天堂大学・関西学院大学2名・・・

2022 年度 WE リーグ入団内定1名 (INAC 神戸レオネッサ) ・なでしこリーグ1部入団内定3名

AIC グラーロス広島レディースから 2018 年～2022 年で 38 名の選手が AICJ 高等学校の進学。

AIC グラーロス広島レディースも 4 年連続でサッカー・フットサル選手権大会の全国大会に出場しており、OG には、U17 女子日本代表で活躍している選手もいます。

AIC グラーロス広島レディースから県内外に進学した選手も、各チームの中心選手として大活躍しています。

AICJ 高等学校女子サッカー部 HP

AICJ女子サッカー部



AIC グラーロス広島レディース HP



AICJ 高等学校女子サッカー部 インスタ



AIC グラーロス広島レディース インスタ

